



＝地区街づくりの検討状況をお知らせします＝

# （ただいま考え中！）

第29号 2010年10月

小田急金森泉自治会街づくりを考える会

## ■今年度下半期の予定

さまざまなご意見をもとに「新しい街づくりのルール」について検討しています。来月には検討結果をとりまとめた資料をお配りする予定です。今回は「ルール」決定までの今後の予定をお知らせします。

## ■アンケートの実施

これまで寄せられたご意見を反映させた「新しい街づくりのルール」案をお知らせするとともに、アンケートを実施して、再度皆様からのご意見をうかがいます。財産権にもかかわる大切な内容も多く含まれているので、今回から記名式とさせていただきます。

## ■実施時期

11月 「新しい街づくりのルール」案の説明資料配付  
記名式アンケート

12月 アンケートの回収・分析

1月 「新しい街づくりのルール」最終案の検討

2月 最終案への同意・不同意に関する確認アンケート

3月 自治会総会への報告

「新しい街づくりのルール」を「街づくりプラン（案）」  
として市へ提出

来年度～ 必要な手続きを経たのち町田市の「街づくりプラン」  
のひとつとして施行

## ■今後の課題

街づくりを考える会が活動を始めてすでに4年半がたちました。おかげさまで「新しい街づくりのルール」もかなりできあがりつつあります。しかし、地区内の高齢化や空き家対策など、まだまだ検討すべき課題は多くあります。以下、検討中の課題の例を紹介しますのでご意見をお寄せください。

### ●例1：空き家対策

空き家のまま放置し、適切な管理がされていないと、ゴミがたまったり、植木が伸びすぎたり、さらには火災や空き巣被害の心配も出てきます。これまで近所の方が声をかけあって善後策が講じられてきましたが、より積極的に対策をした方が良いと思われれます。近所の方と協力しながら、力不足の部分を補う「空き家の管理組合」はできないものでしょうか？

### ●例2：空き地等の管理（農薬散布）

空き地や駐車場に繁茂する雑草の駆除のために、除草剤を利用している区画があります。これまでどのような薬剤がどれくらいの濃度でどれくらいの量をいつ使われたかについてはまったくわかりませんでした。最近は薬剤等にアレルギーを持っている方も増えているようなので、何らかの取り決めが必要と思われれます。事故を未然に防ぐために何ができるか検討中です。

※ 農薬取り締まり法では住宅隣接地での農薬散布は極力避けることや、散布する際には薬剤の種類、使用濃度、使用量、時期等をあらかじめ周知するよう求めています。

**（次回の定例会の予定）** 2010年11月7日（日）10時から

ふれあいもみじ館2F どなたでもお気軽にどうぞ。

街づくりを考える会へのご意見やお問い合わせは2班 船橋

tel：042(795)9423/E-mail：adn75950@rio.odn.ne.jp へお願いします。